

第三次高齢者支援計画(生きがい・介護予防分野)における保健福祉関連事業の実施状況一覧

【施策の方向性1】健康づくり・介護予防の充実 (基本的な施策1)生涯を通じた健康づくり・介護予防の推進 ●生涯を通じた自主的な健康づくりの推進

No.	事業名	事業概要	目標	24年度実績	25年度実績(速報値)
1	健康マイレージ事業 (健康推進課)	生涯を通じた健康づくりを推進するため、介護予防・生活習慣改善等の取り組みや健康診査の受診等をポイント化し、そのポイントを健康グッズなどと交換することで、健康づくりの重要性を広く普及啓発するとともに、市民の自主的かつ積極的な健康づくりへの取り組みを促進します。 また、さらに身近で参加しやすい事業となるよう、地域が主体となった仕組みを展開します。	参加者数 26年度:20,000人	参加者数 15,544人	参加者数 20,560人
2	みんなで歩こう北九州 (健康推進課)	地域住民が楽しく健康づくりに取り組めるように、市民センターを拠点とした地域の特色あるウォーキングコースを設定し、それをホームページで公表するなど地域が主体となった継続的なウォーキング事業の実施を促進します。	参加市民センター数 26年度:129センター	参加市民センター数 129センター	参加市民センター数 129センター

●生活習慣病予防・重症化予防のための各種検診の実施

No.	事業名	事業概要	目標	24年度実績	25年度実績(速報値)
3	健康診査 (健康推進課)	がんなどの生活習慣病予防対策の一環として、これら疾患の疑いのある人や危険因子を持つ人をスクリーニングするため、胃がん・大腸がん・乳がん・子宮頸がんなどの各種がん検診や、骨粗しょう症検診・若者(基本)健診を実施します。	がん検診受診率 24年度:50%以上	がん検診受診率 2.2~22.3%	現在集計中
4	歯ッピー・ヘルシー北九州事業 (健康推進課)	歯と口の健康は、美味しい食事や家族や仲間との会話を楽しむ等、生活の質の向上を図るための重要な要素です。生涯を通じた歯と口の健康づくりの一環として、成人期における歯科疾患の早期発見・早期対応を目的とした歯科検診や情報提供・普及啓発を実施することにより歯と口の健康づくりの推進を図ります。	歯周疾患検診受診率 26年度:8%	歯周疾患検診受診率 4.2%	歯周疾患検診受診率 4.3%

5	北九州市国民健康 保険特定健診・特定 保健指導 (健康推進課)	生活習慣病を予防するための特定健診の受診率向上を図るとともに、効果的な特定保健指導を実施します。また、特定保健指導非対象者にも、健診結果や医療費データ等を分析して健康課題を明確にし、優先順位をつけ、保健指導を行います。さらに、慢性腎臓病予防に向けて、健診結果からかかりつけ医・専門医とをつなぐ予防連携システムを継続して運用し、生活習慣病予防及び重症化予防をめざします。	特定健診受診率 24年度:65%	特定健診受診率 32.6%	特定健診受診率 31.5%(暫定値)
			特定保健指導実施率 24年度:45%	特定保健指導実施率 29.2%	特定保健指導実施率 集計中

●健康づくりや介護予防に関する正しい知識の普及・理解の促進

No.	事業名	事業概要	目標	24年度実績	25年度実績(速報値)
6	介護予防に関する普及・啓発事業 (健康推進課)	介護予防への関心を高め、その重要性や正しい知識を広く周知するため、講演会や新聞・リーフレットなどを活用したPR活動を行います。また、地域主体の介護予防を促進するため、健康づくり推進員等の活動支援やスキルアップ研修を実施します。	介護予防の意味や意義を理解している高齢者の割合 26年度:40.0%	—	介護予防の意味や意義を理解している高齢者の割合 25年度:32.0%
7	百万人の介護予防事業 (健康推進課)	本市が開発したひまわりタイチーやきたきゅう体操を通して介護予防の普及・啓発を図るとともに、高齢者が身近な地域で自主的に健康づくりに取り組めるよう、ひまわりタイチー普及員等の人材育成を図り、自主グループの活動を支援します。	教室参加者数 26年度:420人	教室参加者数 497人	教室参加者数 454人
8	高齢者のための筋力向上トレーニング啓発事業 (健康推進課)	高齢者の日常生活に必要な筋力の維持・向上を図ることを目的として、ストレッチなど自宅でも継続して取り組むことのできる運動を中心とした筋力トレーニング教室を開催します。	教室参加者数 26年度:960人	教室参加者数 917人	教室参加者数 944人
9	お口の元気度アップ事業 (健康推進課)	高齢期において口腔の機能を維持・改善することは、生活の質(QOL)の向上のために重要です。そこで、高齢者を対象とした口腔機能向上や口腔ケアについての意義、方法、効果等についての知識や技術を学ぶ教室、専門職による相談対応、出前講演による普及啓発等の様々な口腔機能向上のための事業を行い介護予防の推進を図ります。	事業延参加者数 26年度:8,700人	事業延参加者数 7,660人	事業延参加者数 7,405人
10	高齢者食生活改善事業 (健康推進課)	高齢者が「食えること」を通じて低栄養状態を予防し、自分に合った適正な食事量を把握するための正しい知識と技術の普及・啓発を、対象者のニーズに合わせて講話や調理実演、個別相談など様々な形態で行います。高齢者が参加しやすいように、地域の市民センターや区役所で開催します。	事業延参加者数 26年度:8,500人	事業延参加者数 8,674人	事業参加者数 8,710人

11	高齢者尿失禁予防事業 (健康推進課)	閉じこもりなどの生活機能の低下を招く原因の1つである尿失禁に関する正しい知識の普及啓発や尿もれ予防体操の実技指導、医師の個別相談などを行うことで、日常生活習慣の改善や生活の質(QOL)の向上を図ります。	尿失禁予防教室・基礎講座参加者数 26年度:250人	尿失禁予防教室・基礎講座参加者数 82人	尿失禁予防教室・基礎講座参加者数 179人
12	元気でハツラツ健康アップ教室 (健康推進課)	生活機能の低下を予防するため、健康講座や運動を取り入れた教室を地域で開催します。また、健康づくり・介護予防活動のリーダー的役割を担う住民を育成し、地域に密着したグループ活動を住民が自主的に展開することをめざします。	教室実施箇所数 26年度:52箇所	教室実施箇所数 56箇所	教室実施箇所数 50箇所
13	公園で健康づくり事業 (健康推進課)	高齢者等の健康づくりに効果的な健康遊具を設置した公園で、健康遊具の適切な利用法や運動方法を学ぶ健康づくり教室を開催するなど、身近な公園を活用した市民の継続的な健康づくり活動を支援します。	教室参加者数 26年度:110人	教室参加者数 161人	教室参加者数 139人

(基本的な施策2)効果的な介護予防の取り組みの推進

●二次予防事業対象者を早期に把握するための取り組み

No.	事業名	事業概要	目標	24年度実績	25年度実績(速報値)
14	二次予防事業対象者把握事業 (健康推進課)	高齢者の生活状況や健康状態を確認するための基本チェックリスト(厚生労働省規定)を活用して、要介護状態等となるおそれの高い二次予防事業対象者を把握・決定します。	—	発送件数 103,295件 二次予防事業決定者数 15,430人 二次予防事業参加者数 3,031人	発送件数 100,993件 二次予防事業決定者数 17,461人 二次予防事業参加者数 3,236人

●効果的な二次予防事業の実施

No.	事業名	事業概要	目標	24年度実績	25年度実績(速報値)
15	通所型介護予防事業 (健康推進課)	要介護状態等となるおそれの高い二次予防事業対象者に対し、運動器の機能向上教室や口腔機能向上教室を引き続き実施し、新たに運動、口腔、栄養のプログラムを組み合わせた教室を実施します。理学療法士、作業療法士、歯科衛生士、管理栄養士、看護師などの専門スタッフの指導で、自宅でも継続して介護予防に取り組めるよう支援します。	教室参加者数 26年度:1,270人	教室参加者数 728人	教室参加者数 763人

16 ①	訪問等による介護予防支援事業 (健康推進課)	要介護状態等となるおそれの高い高齢者に対し、保健師、看護師等が訪問などを行い、高齢者の生活機能に関する問題を総合的に把握・評価し、必要な支援を行います。さらに支援を充実させるため、管理栄養士等による訪問を行います。	訪問等で対応した人数 26年度:9,766人	訪問等で対応した人数 13,402人	訪問等で対応した人数 16,891人
17	高齢者地域交流支援通所事業 (高齢者支援課)	主として要介護状態等となる恐れが高い高齢者を対象に、運動・栄養・口腔ケアの総合的なプログラムにより、できるだけ自立した状態が長く続くよう、市民センターで、サービスの提供を行います。	利用登録者数 26年度:750人	利用登録者数 699人	利用登録者数 682人

●継続的な介護予防ケアマネジメントの実施

No.	事業名	事業概要	目標	24年度実績	25年度実績(速報値)
18 ①	地域包括支援センター運営事業① (いのちをつなぐネットワーク推進課)	生活機能低下のおそれのある高齢者が、その心身の状況などに応じて介護予防事業や介護予防サービスなどを適切に利用できるよう、必要な援助を行います。	取り組みの中で見えてきた課題として、地域包括支援センターに寄せられた相談は、虐待や権利侵害等の困難事例が増加していることが挙げられます。課題解決のために今後も関係機関・団体等との連携を推進していく必要があります。		

(基本的な施策3)健康づくり・介護予防を支援する仕組みの充実

●地域主体の活動の促進・環境整備

No.	事業名	事業概要	目標	24年度実績	25年度実績(速報値)
19	高齢者支援のための地域づくり事業 (いのちをつなぐネットワーク推進課)	市民センターなどを拠点として、保健師を中心とする地域保健関係職員が、地域住民や関係機関と連携し、地域の実情に応じた保健福祉活動を協働で行います。この活動を通して地域福祉のネットワークづくりを支援します。	取り組みの中で見えてきた課題として、健康づくり事業等の業務を、地域においてより効果的に実施するために、市民センターなどで、保健師を中心とする地域保健関係職員が他職種及び地域住民と協働し継続実施する必要があります。		
20	市民センターを拠点とした健康づくり事業 (健康推進課)	地域の市民センター等を拠点として、市民が主体となって地域の健康課題を話し合い、目標設定、計画づくり、実践、事業評価をひとつのサイクルとした健康づくり事業を、まちづくり協議会、健康づくり推進員の会、食生活改善推進員協議会と連携し、医師会、歯科医師会、薬剤師会、栄養士会、行政(保健師等)などの協力により行います。	実施まちづくり協議会数 29年度:136団体	実施まちづくり協議会数 108団体	実施まちづくり協議会数 111団体

●健康づくり・介護予防に携わる人材の育成・支援

No.	事業名	事業概要	目標	24年度実績	25年度実績(速報値)
22	健康づくり推進員の養成・活動支援事業 (健康推進課)	地域における健康づくり・介護予防活動を推進するリーダーの育成のため、運動・栄養・休養に関する研修を行い、健康づくり推進員を養成します。また、健康づくり推進員が行う地域での健康づくり・介護予防に関する情報発信や、ウォーキング教室などの自主活動、知識の普及を支援します。	健康づくり推進員を複数配置する市民センター数 26年度:129センター	健康づくり推進員を複数配置する市民センター数 114センター	健康づくり推進員を複数配置する市民センター数 115センター
23	食生活改善推進員の養成・活動支援事業 (健康推進課)	食を通じた健康づくり・介護予防活動を推進するリーダーの育成のため、食生活と生活習慣病などに関する研修を行い、食生活改善推進員を養成します。また、食生活改善推進員が行う地域での食と健康等に関する情報発信や、健康料理普及講習会、ふれあい昼食交流会などの活動を支援します。	食生活改善推進員グループが活動拠点とする市民センター数 26年度:129センター	食生活改善推進員グループが活動拠点とする市民センター数 119センター	食生活改善推進員グループが活動拠点とする市民センター数 121センター

【施策の方向性2】生きがい・社会参加・地域活動の推進
(基本的な施策1)教養・文化・スポーツ活動の促進

●教養・文化活動などの機会提供と活動支援

No.	事業名	事業概要	目標	24年度実績	25年度実績(速報値)
24	年長者研修大学校及び北九州穴生ドーム運営事業 (高齢者支援課)	年長者研修大学校では、高齢者を対象とした講座を通じた生きがいづくりや仲間づくりに加え、地域活動や社会貢献活動を担う人材の育成を進めます。また、市内の大学と連携した校外授業(シニアカレッジ)の拡充を検討します。生涯現役夢追塾では、これから高齢期を迎える人等を対象に、産業活動や地域活動等の社会貢献活動を担う人材の発掘、育成を進めます。また、高齢者をはじめとした市民の健康づくりなどを行う北九州穴生ドームを運営します。	延利用者数 26年度:200,000人	延利用者数 193,679人	延利用者数 191,823人
25	年長者いきいきクラブ運営事業 (高齢者支援課)	高齢者の生きがいを高めるため、陶芸、木彫、水彩画などの各種講座を「生涯学習センター」や「勤労青少年ホーム」などで開催します。	—	15講座 延受講者数4,443人	12講座 延受講者数2,939人
26	年長者作品展 (高齢者支援課)	高齢者の創造の喜びと創作意欲を高め、生きがいづくりを支援することを目的に、高齢者が製作した作品の発表の場として作品展を各区で実施します。	—	・年長者作品展開催 6区 ・入場者数(6区合計) 約6,600人 ・出品点数(6区合計) 約1,800点	・年長者作品展開催 6区 ・入場者数(6区合計) 約6,100人 ・出品点数(6区合計) 約1,900点

27	年長者施設利用証 広域連携事業 (高齢者支援課)	高齢者の社会参加の促進を図るため、市立の文化、観光、体育施設など(福岡市、下関市、熊本市、下関市の施設も一部含む)を無料又は割引料金で利用できる「高齢者施設利用証」を交付します。	—	延利用者数 625,271人	延利用者数 721,336人
----	--------------------------------	---	---	----------------	----------------

●生涯スポーツ活動の機会提供と活動支援

No.	事業名	事業概要	目標	24年度実績	25年度実績(速報値)
29	全国健康福祉祭北九州市選手団派遣事業 (高齢者支援課)	各種スポーツや文化・福祉イベントを通じて、高齢者の健康の保持増進、社会参加、生きがいの高揚を図り、ふれあいと活力のある長寿社会づくりを推進するため、各県持ち回りで毎年開催される「全国健康福祉祭(ねんりんピック)」に北九州市選手団を派遣します。	—	選手団 15種目 101人	選手団 13種目 85人
30	高齢者の健康づくりモデル事業(スポーツ教室) (高齢者支援課)	スポーツを通じて高齢者の健康づくりを行うとともに、高齢者が気軽に楽しめるニュースポーツの振興を図ることを目的に、北九州穴生ドームでシニア健康スポーツ教室、ニュースポーツ体験教室などを実施します。	—	延参加者数 24,583人	延参加者数 26,039人
31	高齢者の水中歩行教室 (高齢者支援課)	高齢者の生きがいと健康づくりを支援するため、水中歩行運動を中心とした教室を開催します。	—	実施会場7会場 延参加者数4,215人	実施会場6会場 延参加者数3,258人
32	シルバースポーツ大会開催助成 (高齢者支援課)	スポーツを通じた高齢者の生きがいづくりを促進するため、60歳以上の高齢者が過半数参加する全市的なスポーツ大会の開催経費の一部を助成します。	—	4種目4団体へ助成	4種目4団体へ助成

(基本的な施策2)社会参加のための人材育成・環境づくり

●地域社会の担い手となる人材の育成

No.	事業名	事業概要	目標	24年度実績	25年度実績(速報値)
37	ボランティア大学校運営事業 (いのちをつなぐネットワーク推進課)	地域ニーズに対応した研修内容の充実、研修機会の拡大に努め、地域福祉やボランティア活動を担う人材の養成を行います。	ボランティア大学校の研修の受講者数 26年度:2,400人	ボランティア大学校の研修の受講者数 2,326人	ボランティア大学校の研修の受講者数 3,404人

●活動のための情報や場の提供

No.	事業名	事業概要	目標	24年度実績	25年度実績(速報値)
43	高齢者いきがい活動支援事業 (高齢者支援課)	高齢者の社会貢献や生きがいづくりを促進するため、高齢者の参加しやすいボランティア活動、生涯学習、仲間づくり情報などの収集や情報提供を行います(H24.12から事業開始)。	—	ホームページ閲覧件数 3,254件 窓口閲覧件数 1,088件 【H24.12から事業開始】	ホームページ閲覧件数 16,796件 窓口閲覧件数 4,047件
44	年長者いきいの家 (高齢者支援課)	地域の高齢者に対して、教養の向上及びレクリエーション活動などの場を提供し、心身の健康増進を図るため、年長者いきいの家の運営及び活動に必要な経費の補助や、建物の修繕・補修工事を実施します。	—	延利用者数 317,826人	延利用者数 未集計
45	新門司老人福祉センターの管理運営 (高齢者支援課)	高齢者に対して、介護予防の視点に立ちながら各種相談に応じるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーション活動を提供する場の運営を行います。	年間総利用者数 26年度:57,000人	年間総利用者数 50,752人	年間総利用者数 48,359人
47	老人クラブ活動の促進 (高齢者支援課)	老人クラブの地域社会における社会奉仕活動等を促進し、高齢者福祉の増進を図ります。また、老人クラブが、地域における世代間交流を深めるとともに、地域社会の一員として介護予防への取組みを行うなど、積極的な役割を果たすことができるよう支援を行います。 ① 単位老人クラブへの助成、② 市・区老人クラブ連合会への助成、③ 高齢者の健康づくり支援事業、④ 年長者の生きがいと創造の事業	—	老人クラブ数 907クラブ 会員数 42,057人 健康づくり支援事業実施 校区 14校区 生きがいと創造の事業実施 クラブ 512クラブ	老人クラブ数 903クラブ 会員数 40,616人 健康づくり支援事業実施 校区 9校区 生きがいと創造の事業実施 クラブ 421クラブ

●高齢社会に関する啓発

No.	事業名	事業概要	目標	24年度実績	25年度実績(速報値)
48	敬老行事 (高齢者支援課)	長年にわたって社会に貢献してきた高齢者を敬うとともに、市民の高齢社会に対する認識を深めるため、さまざまな長寿のお祝いに関連する事業を行います。①年長者の祭典 ②敬老祝金 ③地域で行われる敬老行事への助成	—	①参加者数約1,100人 ②16,132人 支給額226,970千円 ③364団体 参加者数110,667人	①参加者数約720人 ②16,508人 支給額248,040千円 ③集計中
49	高齢社会を考える区民の集い (高齢者支援課)	高齢社会への共通の理解と認識を確立し、友愛訪問や地域助け合い活動などを活発にしていくことを目的に、区ごとに啓発イベントを開催します。	—	区民の集い開催 7区 参加者数 約3,500人	区民の集い開催 7区 参加者数 約3,500人

50	市制50周年記念事業生涯現役夢追いサミットの開催 (高齢者支援課)	本市の市制50周年記念事業として、高齢者が、いつまでもいきいきと社会や地域で活躍できる生涯現役社会の実現に向けた環境づくりを進めるための啓発イベントを平成25年2月23日に開催しました。	—	総参加者数 430人	—
----	--------------------------------------	---	---	------------	---

●世代間交流の促進

No.	事業名	事業概要	目標	24年度実績	25年度実績(速報値)
51	高齢者による子育て支援モデル事業 (高齢者支援課)	高齢者による豊富な経験を活かした子育て支援を行うボランティア活動を支援することで、安心して子どもを産み育てることができる環境づくりの一翼を担うとともに、高齢者自身の生きがいづくりなどを促進します。	—	延利用者数 1,008人	延利用者数 917人

(基本的な施策3)多様で主体的な社会貢献活動の促進

●多様な地域活動の支援

No.	事業名	事業概要	目標	24年度実績	25年度実績(速報値)
56	高齢者を対象とした地域活動促進助成事業(まちづくり参画チャレンジ事業・シニア活動ステップアップ事業) (高齢者支援課)	高齢者を主たる対象とした生きがいづくりや健康づくりなどの地域活動に対して、助成を行います。	—	助成団体 9団体	助成団体 11団体
57	(新)介護支援ボランティア制度の実施 (介護保険課)	高齢者が介護保険施設等において、要介護者等に対する介護支援ボランティアを行った場合に、その活動実績を評価してポイント化し、ポイントを換金することができる事業の実施を検討します。	ボランティア登録人数 26年度:1,000人	—	ボランティア登録人数 1,102人
60	ボランティア活動推進事業 (いのちをつなぐネットワーク推進課)	市内のボランティア活動の活性化のため、ウェルとばたと各区にある「ボランティア・市民活動センター」において、関係団体と協働して啓発や情報の収集・提供、需給調整などを行います。	—	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア登録団体 786団体 ・ボランティア登録人数 29,105人 ・ボランティア活動に関する相談件数 33,077件 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア登録団体 618団体 ・ボランティア登録人数 22,671人 ・ボランティア活動に関する相談件数 34,787件